

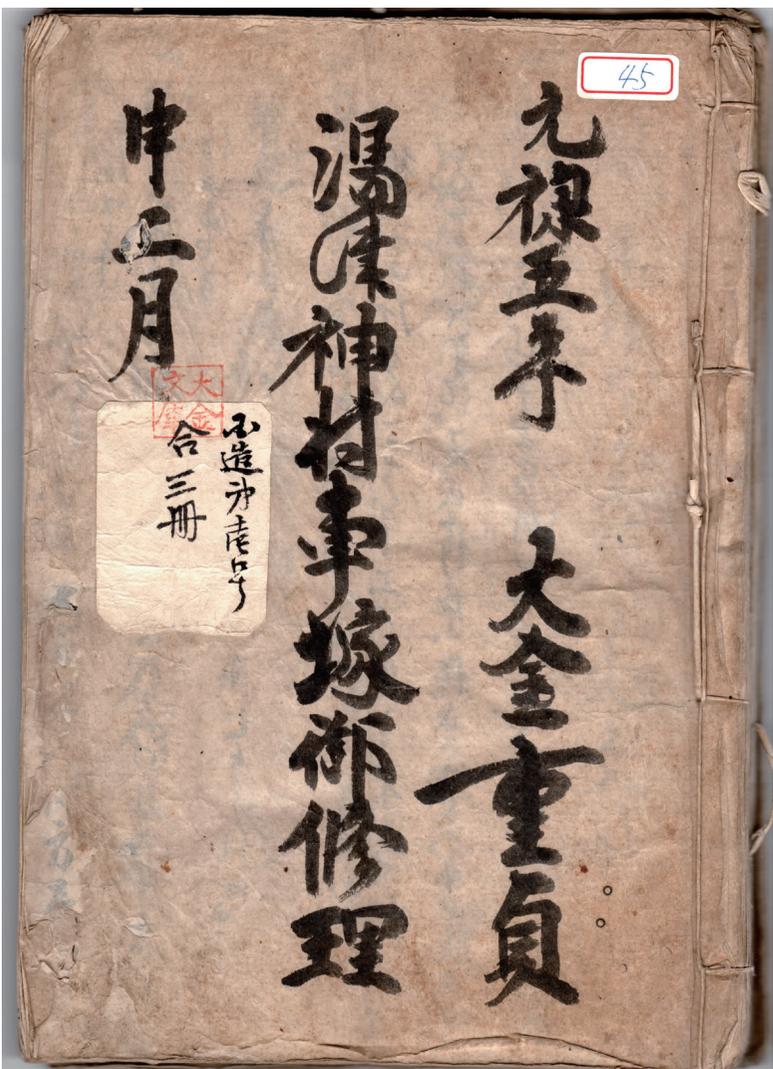
製作年
筆者名
題名

元禄五年(西暦1692年) 大金重貞(人物の名前)

湯津神村車塚御修理

(現・大田原市湯津上にある上・下侍塚古墳の修理)

申二月(さる年の2月)



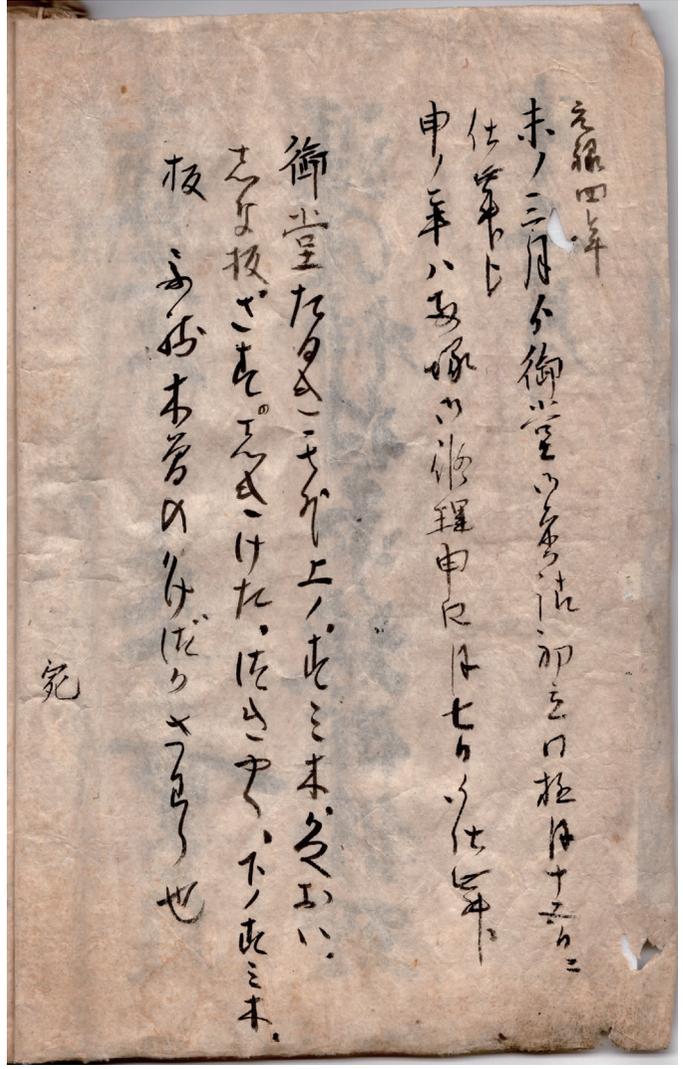
元禄四年(西暦1691年)

未の三月(ひつじ年、西暦1691年の3月)から、国造碑を納める御堂を造つて、十二月十五日に完成した。

申の年(さる年、西暦1692年)は両方の塚(侍塚古墳)を修理して四月七日に終わった。

御堂の垂木、上の隅木、□□(不詳)、しな板、さす、敷き板、□□(不詳)、下の隅木、板はすべて木曾入りけづかサワラである。

(那須国造碑を納める御堂を造る木材や板の種類の記事)



『湯津神村車塚御修理』 p1 p2 表紙・前書き